

45分授業の事例

1. 単元

テーマ「地震から命を守る」

2. 本時の学習指導

(1) ねらい

項目1. 『地震発生のメカニズム』

→地震発生のしくみについて理解できる。

項目2. 『居住地域の特徴と被害想定』

→静岡県で起こりうる地震について自分の地域を中心としてその危険性を知ることができる。

項目3. 『地震が起きた時の命の守り方』

→地震について状況に応じた身の守り方を考えることができる。

項目4. 『日頃からの備え』

→事前の備えとして必要なことを考えることができる。

(2) 準備・資料等

静岡県防災学習（地震）

タブレット端末

プロジェクター・スクリーン

ワークシート

レーザーポインター（もしくは指し棒）

※タブレット利用時には操作説明を行う ※タブレットはグループごとに操作する

※被害写真、災害動画、緊急地震速報等の提示の際は、児童の実態に応じ、児童に精神的な負担をかけることのないように十分配慮する

【学習指導案】

(3) 学習指導案

※時間についてはあくまで目安です

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導 (●)・支援 (◎) 予想される反応 (・)	評価の観点等 評価 (☆)
導入	地震への関心を高める	1		◎グループ活動のため、事前に机・椅子を動かしておくよう伝える。 ※◎ワークシートを配る。	※45分講座用対応 今回の講座は、項目 2.3 をメインとした構成としているため基本的にワークシートは使用しないものとしている。 (学習のふりかえり部分では使用)
		2~3	4	●地震が起きると町がどうなるか (※ワークシートに記入) 答え(述)させる。 ◎児童数名に答えさせる。 ◎記入させずに口答で答えさせてもよい。 ・家がくずれろ・物が落ちてくる・停電になる ・土砂くずれが起こる・津波が起こる など	☆地震が起きたらどうなるか思い起こすことができている。 [思考・判断・表現] ※45分講座用対応 ワークシートへの記述はせず、口答で答えさせる。
		4~9、11	1	●被害写真、災害動画を提示する。 ◎提示する写真や動画は、地域の特徴にあわせて選択する。	
	本時のテーマを確認する	13		地震から命を守る	
展開	本時のねらい(一つ目)を確認する	30		地震が起きたらどうなる？	
	静岡県で起こりうる地震について知る	31	1	●静岡県で起きた大きな地震の歴史について提示する。	
		32		●静岡県では大きな地震(南海トラフ巨大地震)の想定が発表されていることを提示する。	
		33	1	●震度とは何かを説明する。	
		34		●震度と人の体感・行動について提示する。	
	35	1	●静岡県で大きな地震(南海トラフ巨大地震)のときに想定されている震度を提示する。 ◎あくまで一つの想定であり、正しく恐れることが重要であることを補足する。		

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導 (●)・支援 (◎) 予想される反応 (・)	評価の観点等 評価 (☆)
	地域の地震の危険性を調べる	37~ 38	10	<p>ICT 活用(タブレット)</p> <p>●自分たちの住んでいる地域の危険性を調べさせる。内蔵地図コンテンツ又は【静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」】</p> <p>◎児童に操作させる前に教師が見本として操作してみせる。</p> <p>◎自由に操作できてしまうため、操作時間をあらかじめ決めておく。</p> <p>◎地域の特성에応じて地震の震度にとどまらず、津波・土砂災害・液状化について調べさせてもよい。</p> <p>※機種によっては静岡県総合防災アプリが使用できない場合があります。</p>	<p>☆タブレットを使用し、意欲的に探究しようとしている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p>
	本時のねらい(二つ目)を確認する	42~ 43		<p>地震から身を守るには？</p>	
展開	地震が起きたときの身の守り方を考えよう【家】	58~ 61	10	<p>ICT 活用(タブレット)</p> <p>●地震のとき危ない場所を示させる。選んだ理由も考えさせる。</p> <p>◎何グループかに、理由も含め答えさせる。</p> <p>●回答例を示し、危険な場所を日頃から確認しておくことが大切だと伝える。</p> <p>◎実際の被害写真を提示する。(地震の被害にあった住宅の部屋の様子 [平成7年阪神・淡路大震災])</p>	<p>☆グループで話し合いながら、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p>
		62~ 63	3	<p>ICT 活用(タブレット)</p> <p>●地震から身を守るために良いと思う行動を選ばせる。(※選んだ理由も考えさせる。)</p> <p>◎答えは1つとは限らないことを伝える。(※◎何グループかに、理由も含め答えさせる。)</p> <p>●正答を示し、状況によって身の守り方が違うことを気づかせる。</p>	<p>☆状況に応じた身の守り方を考えることができる。</p> <p>[思考・判断・表現] [知識及び技能]</p> <p>※45分講座用対応 回答時間を短めに設定する。理由については答えさせない。</p>
	地震から命を守る	69~ 70	1	<p>●地震から命を守るために大切なことを提示する。</p> <p>●いざという時に慌てないためにも、日頃から対策しておくことが大切であることを伝える。</p>	
	地震が起きたときの身の守り方を考えよう【海の近く】	73~ 75、 79	4	<p>ICT 活用(タブレット)</p> <p>●海の近くで大きな地震が起きたときに良いと思う行動を選ばせる。選んだ理由も考えさせる。</p> <p>◎何グループかに、理由も含め答えさせる。</p> <p>●正答を示し、それ以外の回答がなぜ誤答なのかを説明する。</p>	<p>☆状況に応じた身の守り方を考えることができる。</p> <p>[思考・判断・表現] [知識及び技能]</p>
		81	1	<p>●南海トラフ巨大地震によって、静岡県にやって来ると想定されている津波の高さを提示する。</p> <p>◎該当する地域の想定を児童に確認させてもよい。</p>	

	学習活動	スライド	分	指導上の留意点と予想される児童の反応例 指導 (●)・支援 (◎) 予想される反応 (・)	評価の観点等 評価 (☆)
				◎あくまで一つの想定であり、正しく恐れることが重要であることを補足する。	
		82		●南海トラフ巨大地震によって、海岸に津波がやって来るまでの想定されている時間を提示する。 ◎該当する地域の想定を児童に確認させてもよい。 ◎津波はあっという間にやって来ること、やって来るのを見てから避難を始めたのでは逃げられないことをしっかりおさえる。 ◎あくまで一つの想定であり、正しく恐れることが重要であることを補足する。	
	本時のねらい(三つ目)を確認する	87		日ごろからどんなことを備えたらよい？	
	室内の備えについて考える	91	1	●寝る場所に限らず、自宅の中で地震のとき危険な場所を事前に確認しておくことが大切だと伝える。	
		92		●家具の配置換えや転倒防止について説明し、自分の家はどうなっているか家に帰ったら確認するよう促す。	
	備蓄品について考える	94~ 95	3	●電気・ガス・水道がすべて使えない中で何日間か過ごすことになった場合、何を備えておけばよいか(※ワークシートに記入) 答え(複数) させる。必要だと思った理由も考えさせる。 ◎何グループかに、理由も含め答えさせる。 ◎意見交換により、いろいろな考えがあることに気づかせる。 ・水・食べ物・懐中電灯 など	☆状況を想像し、何を備えておけばよいかを考えることができている。 [思考・判断・表現] ※45分講座用対応 ワークシートへの記述はせず、口答で答えさせる。
		96	1	●備蓄品の例を提示し、備蓄するものは、家族みんなで考え、準備しておくことが大切だと伝える。	
まとめ	本時のふりかえりをする	104 ~ 106	2	●地震から命を守るために大事なことを提示し、本時の内容をふりかえらせる。 ◎本時の内容を思い起こさせながら、児童の反応を見て進める。	
	※ワークシートへ記入する	109 ~ 110	(5)	●(※本時のふりかえりをワークシートに記入させる。) ◎児童数名に答えさせる。 ・部屋の中を片付けておこうと思った。 ・家族の集合場所を決めておきたい。	☆地震の危険を理解したうえで、日常生活でどんなことに備えたらよいか考えることができている。
	授業者からのまとめ	111	1	●今日学習したこと(※やワークシートに記入したこと)に積極的に取り組んでほしいと伝える。	[知識及び技能] ※45分講座用対応 ワークシートへの記述する時間がない場合は、宿題とする。